

秋の全国交通安全運動

期間 9月21日(日)～9月30日(火)

重点①

歩行者の安全な道路横断方法
等の実践と反射材用品や明るい
目立つ色の衣服等の着用促進

～歩行者の皆さんへ～

道路を渡るときは横断歩道を利用しましょう
夕暮れ時や夜間に外出するときは、明るい色
の服を着たり、夜行反射材などの光るものを
身につけて、自分の存在をアピールしましょう



重点③

自転車・特定小型原動機付自転車
の交通ルールの理解・遵守の徹底と
ヘルメットの着用促進

自転車は車両です。

原則、車道の左側を通行し、歩行者の通行を
妨げないようにしましょう。

交差点では一時停止や徐行をして左右の安全
確認を確実にいきましょう

自転車に乗る時は、命を守るためにヘルメット
を着用しましょう



長野県交通安全スローガン

重点②

ながらスマホや飲酒運転等の根絶
と夕暮れ時の早めのライト点灯や
ハイビームの活用促進

～ドライバーの皆さんへ～

ながらスマホは事故の危険が高まります。
運転中はスマホの利用をやめましょう

飲酒運転や妨害運転等は重大事故の原因
になる悪質危険な行為ですので、
絶対にやめましょう



重点④

長野県重点
高齢者の交通事故防止

年齢を重ねるにつれて視野、反射神経
筋力等の身体機能が変化しますので、
ハンドル・アクセル・ブレーキの確実な操作
と丁寧な安全確認をしましょう

加齢により歩く速度が遅くなり、道路を
横断する時間が長くなることから、十分に
左右の安全を確認してから横断を
始めましょう



～信濃路は みんなの笑顔 つなぐ道～

きのこ採り遭難防止



例年9月から10月にかけて、県内では、きのこ採り目的で入山し、道迷いや、急斜面で滑落して死傷する遭難が多発しています。

きのこ採りは、探すことに夢中になるあまり山奥へ入り込み、方向感覚を失い、現在地が分からなくなってしまったり、危険な崖や斜面に入り込んでしまうことが多々あります。

きのこ採りで入山する際は、「**遭難するかもしれない**」という危機感を持つとともに、必ず家族や友人などに入山場所と予定を知らせましょう。

きのこ採り遭難防止のため、次のことに注意してください。

1 入山場所と予定を家族等に伝えましょう。

家族には入山場所と予定を伝えてから出掛けてください。

家族から捜索願が出されても、入山場所が特定できなければ、捜索が非常に困難となります。



2 携帯電話やヘッドライトを持って行きましょう。

携帯電話は、万一の際の重要な通信手段となります。必ず携帯して入山してください。また携帯電話のGPS機能をONにしましょう。

秋は日が短く、冷え込みます。万一に備え、防寒着やヘッドライト、食料等を携行してください。



3 急な斜面に入り込まないようにしましょう。

きのこ採りに夢中になるあまり、急な斜面に入り込み、滑落して死傷するケースが多発しています。

不用意に危険な崖や斜面には入り込まないでください。



4 単独入山、入山後の単独行動は避けましょう。

単独での入山は、アクシデント起きてしまった際、救助要請ができない場合があります。複数で入山をするようにしましょう。

また複数で入山した後も、単独行動をして道に迷い、仲間とはぐれてしまうケースが後を絶ちません。お互いに目や声の届く範囲で行動をしてください。



5 熊などの野生動物に注意しましょう。

山中で、熊やイノシシに不意に遭遇し、襲われることがあります。

野生動物からの危害防止のために、鈴やラジオなど音の出るものを携帯しましょう。

